

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる場合があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。

また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。

ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または、当社お客様相談室に修理を依頼してください。

⚠ 警告



[禁止]

はずしたネジは放置しないでください。
そのままネジを放置すると、小さなお子様飲み込み、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

指定されたネジ以外は絶対にはずさないでください。
万一、はずしてしまった場合は、すぐにネジを付けてください。

不安定な台の上などで作業を行わないでください。

【調整する場合】

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。商品の不具合や破損の原因となります。

【水への配慮】

お手入れの際、窓やドアにホースや高圧洗浄機などで勢いよく水をかけないでください。
室内側へ水が入るおそれがあります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると変色するおそれがあります。
付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。商品にキズがつくおそれがあります。
布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。商品にキズがつくおそれがあります。

お願い

【ガラス】

お手入れの際は、必ず柔らかい布をご使用ください。
ガラス表面にキズがつくと、割れるおそれがあります。
ガラス表面にキズがついた場合は、お早めにお取り扱いの建築会社、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

強化ガラスは、万一割れた場合でも瞬時にガラス全面が粒状の破片となる安全性の高いガラスです。
ガラスが割れた場合は、なるべく近づかず速やかにガラスの交換を依頼してください。

飛散防止フィルムが貼付されたガラスは、こまめに清掃を行ってください。
表面に汚れが付着したまま放置すると、フィルムの劣化が早まるおそれがあります。
※フィルム面の清掃方法は、「持ち出しひさし（フィルム面）の清掃方法」(➡ P.135)を参照してください。

【電動商品】

お手入れの際、電装部品に水がかからないようご注意ください。水がかかると、故障するおそれがあります。
電装部品に不具合が生じた場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

【リウッド（再生木）】

表面に付着した汚れやしみは、早めに洗浄してください。
長時間放置しておくと、頑固な汚れや黒い斑点の原因となります。

中性洗剤を使用する際は、取り扱いに十分注意してください。
植物に対して影響を及ぼすおそれがあります。

リウッドを洗浄する際は、金属製のブラシやスチールウールなどの硬い材質のものを使用しないでください。
表面にキズがつくおそれがあります。

リウッドの洗浄は、木目に沿って均一に行ってください。
木目に対して直角に強く磨いたり、一か所を集中して磨いたりすると白く跡が残る場合があります。

化学モップや化学ぞうきんなどのモップも使用しないでください。
モップに含まれる油分が浮き上がってくるおそれがあります。

ミゾ加工が施されているリウッドデッキは、ぞうきんなどの繊維製商品で清掃しないでください。
ミゾに繊維がはさまり、取れにくくなるおそれがあります。

ブラシ付き掃除機を一か所にあて続けしないでください。
リウッドデッキ表面に跡が残るおそれがあります。

お手入れ方法

アルミ製商品／樹脂製商品（デッキ材含む）／アクリル・ポリカーボネート板（屋根ふき材含む）

お願い

【アルミ製商品】

表面に汚れがついた場合は、早めに洗い落としてください。
汚れがついたまま放置すると、しみ、腐食、色落ちするおそれがあります。

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【アクリル・ポリカーボネート板】

商品に有機溶剤を含む、殺虫剤やガラスクリーナーを塗布・散布しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れが発生するおそれがあります。

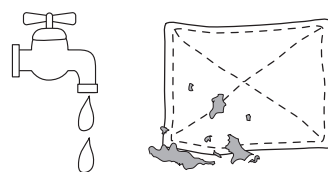
古くなったポリカーボネートの屋根ふき材は、早めに交換してください。
古くなると、強風や積雪、衝撃などで破損するおそれがあります。

ポリカーボネートに油膜が付着した場合は、すみやかに清掃してください。
割れや変形、変色の原因となります。

■通常のお手入れ

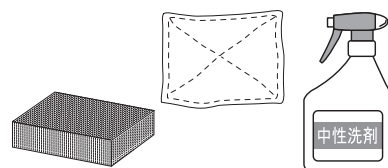
1 表面のホコリ・砂を落とす

柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



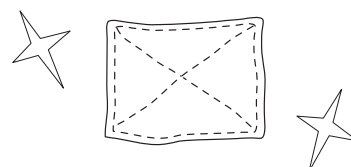
2 水ぶきする

柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。
※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



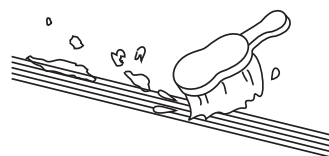
カーテンレールの清掃方法

- 下枠やレールは、特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れしてください。

1

砂やホコリを吸い取る

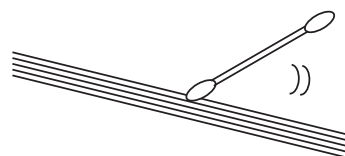
レールのミゾ内部にたまった砂やホコリをやわらかいブラシで落とします。



2

汚れをふき取る

割り箸の先に布を巻き付け、さらに汚れをふき取ります。



ハンドル・引手

清掃方法については、「アルミ製商品／樹脂製商品（デッキ材含む）／アクリル・ポリカーボネート板（屋根ふき材含む）」（→P.80）を参照してください。

化粧シート貼り商品（ラミネート）

1 汚れをふき取る

柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸すか、プラスチック消しゴムなどで汚れを軽くふき取ります。



網戸（ネット部分）

● 網戸の取りはずし方・取り付け方は、P.116 ～ P.117 を参照してください。

1 ネットを水洗いする

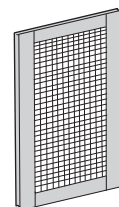
ネットがはずれないように柔らかいブラシやスポンジで軽く押さえるように水洗いします。

※汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い、軽く洗い流します。



2 水分をふき取る

水分を十分にふき取り、乾燥させます。

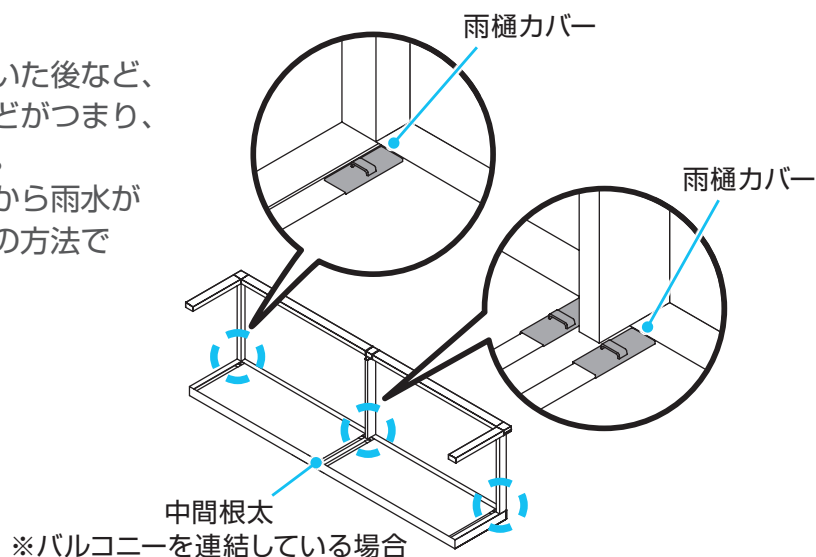


ご使用前に確認してください

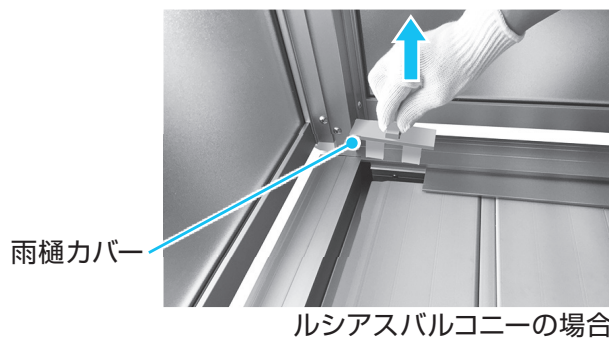
- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

雨樋の清掃方法

台風や暴風雨の後や秋の木枯らしが吹いた後など、バルコニーの排水溝にゴミや落ち葉などがつまり、雨樋をふさいでしまうことがあります。この状態を放置すると、思わぬところから雨水があふれ出すことがありますので、下記の方法で清掃を行ってください。



1 雨樋カバーを取りはずす (雨樋カバー付きの場合)

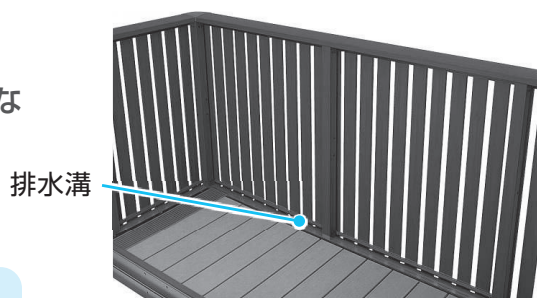


2 排水溝の大きなゴミを取り除く

バルコニーの桁側にある排水溝の落ち葉などの大きいものを取り除きます。

⚠ 注意

- 排水溝の中の落ち葉などを取り除く際は、割り箸などを使用してください。
素手で行うと、突起などに手があたり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



3 ドレインのゴミを取り除く

コーナーのドレインのゴミを取り除きます。

お願い

- ドレインのゴミは定期的に取り除いてください。ドレインのゴミを取り除かないと、水がたまってドレインからあふれ、雨漏りが発生するおそれがあります。

ドレイン

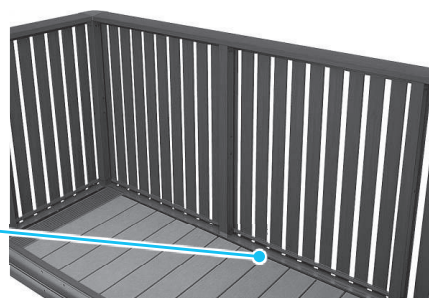


ルシアスバルコニーの場合

4 排水溝のゴミを掃き出す

排水溝に残っている砂などを、ブラシでドレインのほうに掃き出します。

排水溝



5 水で洗い流す

排水溝をきれいに水で洗い流します。

6 雨樋カバーを取り付ける (雨樋カバー付きの場合)

雨樋カバー



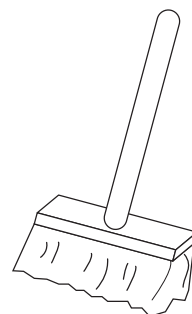
床材の清掃方法

■保水タイル

●通常のお手入れ

1 湿らせて汚れを落とす

タイルを湿らせる程度に水を撒き、デッキブラシでタイル表面を擦ります。



●汚れがひどい場合

1 洗剤で汚れを落とす

中性洗剤（1～2%の水溶液）を使用して、デッキブラシでタイル表面を擦ります。



2 洗い流す

洗剤が残らないよう、十分洗い流します。

※汚れが部分的に目立つ場合には、キメの細かいメラミンフォーム製スポンジの使用をお勧めします。ただし、メラミンフォーム製スポンジを大量に使用するとスポンジの小片が出ますので、排水溝などに詰まらせないようにご注意ください。



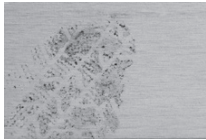
■リウッド（再生木）商品

お願い

- 中性洗剤を使用する際は、取り扱いに十分注意してください。
植物に対して影響を及ぼすおそれがあります。
- リウッドを洗浄する際は、金属製のブラシやスチールウールなどの硬い材質のものを使用しないでください。表面にキズがつくおそれがあります。
- リウッドの洗浄は、木目に沿って均一に行ってください。
木目に対して直角に強く磨いたり、一か所を集中して磨いたりすると白く跡が残る場合があります。
- 化学モップや化学ぞうきんなどのモップも使用しないでください。
モップに含まれる油分が浮き上がってくるおそれがあります。
- リウッドに灯油やガソリン、有機溶剤などが付着した場合は、すぐにふき取ってください。
変色するおそれがあります。
- ミゾ加工が施されているリウッドデッキは、ぞうきんなどの繊維製商品で清掃しないでください。
ミゾに繊維がはさまり、取れにくくなるおそれがあります。
- ブラシ付き掃除機を一か所にあて続けしないでください。リウッドデッキ表面に跡が残るおそれがあります。

第4章

「リウッド」は天然木とくらべ耐腐朽性、耐候性に優れますが、外的要因により付着する汚れ、カビの発生などは天然木とそれほど変わりません。頑固な汚れになる前にこまめな清掃が必要です。



ホコリ、靴あと



雨染み



コーヒー・ジュースなど



黒い斑点・カビ



キズ・焦げあと



落書き（マジック）

状態によりお手入れ方法が異なりますので下記を参考にしてください。

種類	お手入れ方法				
	掃き掃除	洗浄			サンディング
	ほうき・掃除機	デッキブラシ			サンドペーパー#60
		水洗い	台所用中性洗剤	高圧洗浄機	
ホコリ、靴あと	●	●		●	●
雨染み		●	●	●	●
泥水		●	●	●	●
コーヒー		●	●	●	●
ジュース		●	●	●	●
醤油、ソース		●	●	●	●
油汚れ			●		●
タバコの焦げあと					●
キズ					●
黒い斑点（カビ）		●	●	●	●
黒い斑点（タンニン鉄）		●	●	●	●
苔・藻		●	●	●	●
マジック					●
クレヨン					●

- ・ 広範囲の汚れには高圧洗浄機を使用すると便利です。
- ・ 洗浄で取れない汚れはサンディングで対応してください。
- ・ 大きなキズや焦げあとはサンディングしても、あとが目立つことがあります。
特にミゾ加工が施されているデッキ材は、ミゾが途切れるように見えるので目立ちやすい場合があります。

●水洗いによる洗浄

【対象】 ホコリ、靴あと、雨染みの汚れなど

【用意するもの】 洗浄道具(デッキブラシ、ナイロン不織布、たわし、ぞうきん、水切りワイパーなど)

1 表面のゴミ・ホコリを落とす

デッキ材表面のゴミやホコリをほうきなどではらいます。

2 水洗いする

ぞうきん、デッキブラシなどでデッキ材の板目に沿って水洗いします。

お願い

- ミゾ加工が施されているリウッドデッキは、ぞうきんなどの繊維製商品で清掃しないでください。ミゾに繊維がはさまり、取れにくくなるおそれがあります。

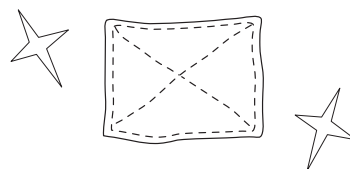


3 水分をふき取る

固く絞ったぞうきんで、デッキ材の板目に沿って水をふき取ります。

お願い

- ミゾ加工が施されているリウッドデッキは、ぞうきんなどの繊維製商品で清掃しないでください。ミゾに繊維がはさまり、取れにくくなるおそれがあります。
- 余分な水分は、水切りワイパーなどで取り除いてください。



●台所用中性洗剤による洗浄

【対象】 コーヒー、ジュース、醤油、油汚れなど

【用意するもの】 台所用中性洗剤、
洗浄道具(デッキブラシ、ナイロン不織布、たわし、ぞうきん、水切りワイパーなど)

1 表面のゴミ・ホコリを落とす

デッキ材表面のゴミやホコリをほうきなどではらいます。

2 中性洗剤で汚れを落とす

台所用中性洗剤の使用方法に従って、デッキブラシ、たわしなどでデッキ材の板目に沿って擦ります。

お願い

- 洗浄剤に強酸、強アルカリ、シンナーやベンゼンなど有機溶剤、石油類は使用しないでください。変色するおそれがあります。



3 水洗いする

中性洗剤を水で洗い流します。

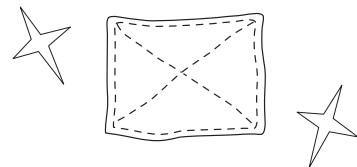


4 水分をふき取る

固く絞ったぞうきんで、デッキ材の板目に沿って水をふき取ります。

お願い

- ミゾ加工が施されているリウッドデッキは、ぞうきんなどの繊維製商品で清掃しないでください。ミゾに繊維がはさまり、取れにくくなるおそれがあります。
- 余分な水分は、水切りワイパーなどで取り除いてください。



●高圧洗浄機による洗浄

【対象】 広範囲のホコリ、靴あと、雨染みの汚れなど

【用意するもの】 高圧洗浄機、水切りワイパー

1 表面のゴミ・ホコリを落とす

デッキ材表面のゴミやホコリをほうきなどではらいます。

2 高圧洗浄機で汚れを落とす

高圧洗浄機の取扱説明書に従って、デッキ材の板目に沿って噴射します。

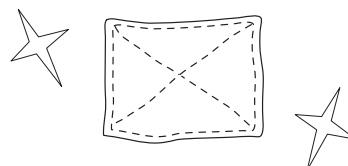


3 水分をふき取る

固く絞ったぞうきんで、デッキ材の板目に沿って水をふき取ります。

お願い

- ミゾ加工が施されているリウッドデッキは、ぞうきんなどの繊維製商品で清掃しないでください。ミゾに繊維がはさまり、取れにくくなるおそれがあります。
- 余分な水分は、水切りワイパーなどで取り除いてください。



●サンドペーパーによるサンディング

【対象】 キズ、焦げあと、タンニン鉄や黒カビによる黒い斑点、頑固な汚れなど

【用意するもの】 サンドペーパー（＃60）、当て木、軍手、掃除機、水切りワイパーなど

1 表面のゴミ・ホコリを落とす

デッキ材表面のゴミやホコリをほうきなどではらいます。

2 サンディングする

サンドペーパーをハンド研磨機に取り付けるか、当て木に巻いて、デッキ材の板目に沿って直線的に一定の力で擦ります。

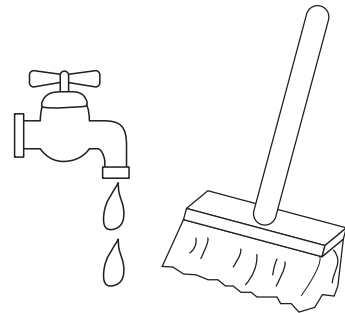


お願い

- ハンド研磨機は、往復式や回転式ではなく、ベルト式のものをご使用ください。

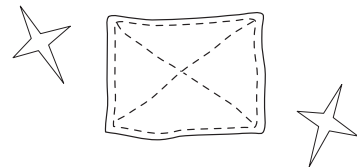
3 水洗いする

サンディングした粉を除去します。



4 水分をふき取る

固く絞ったぞうきんで、デッキ材の板目に沿って水をふき取ります。



お願い

- ミゾ加工が施されているリウッドデッキは、ぞうきんなどの繊維製商品で清掃しないでください。
ミゾに繊維がはさまり、取れにくくなるおそれがあります。
- 余分な水分は、水切りワイパーなどで取り除いてください。